

2 - 5 福島県東部におけるラドン観測 (XIX)

Radon Observation in the Eastern Part of Fukushima Prefecture (XIX)

東京大学大学院理学系研究科

Graduate School of Science, The University of Tokyo

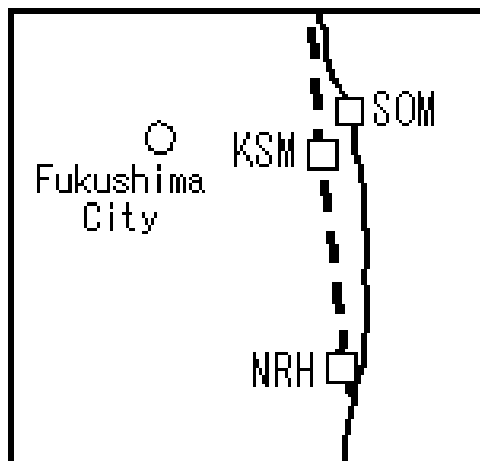
前報¹⁾ に引き続き、福島県東部における地下水のラドン濃度の連続観測結果 (2001年6月～2002年4月) を報告する。

観測点は、第1図に示す相馬 (SOM)、鹿島 (KSM)、楢葉 (NRH) の3地点である。第2図は、SOM、KSM、NRHにおける、1時間毎のラドン濃度 (積算値) の24点移動平均値の時系列である。図の右上には、1998年以降のラドン濃度の観測値を示してある。

SOMでは例年どおりラドン濃度はきわめて一定である。また、どの観測点でもラドン濃度には、夏高く冬低い年周変化が見られる。

参 考 文 献

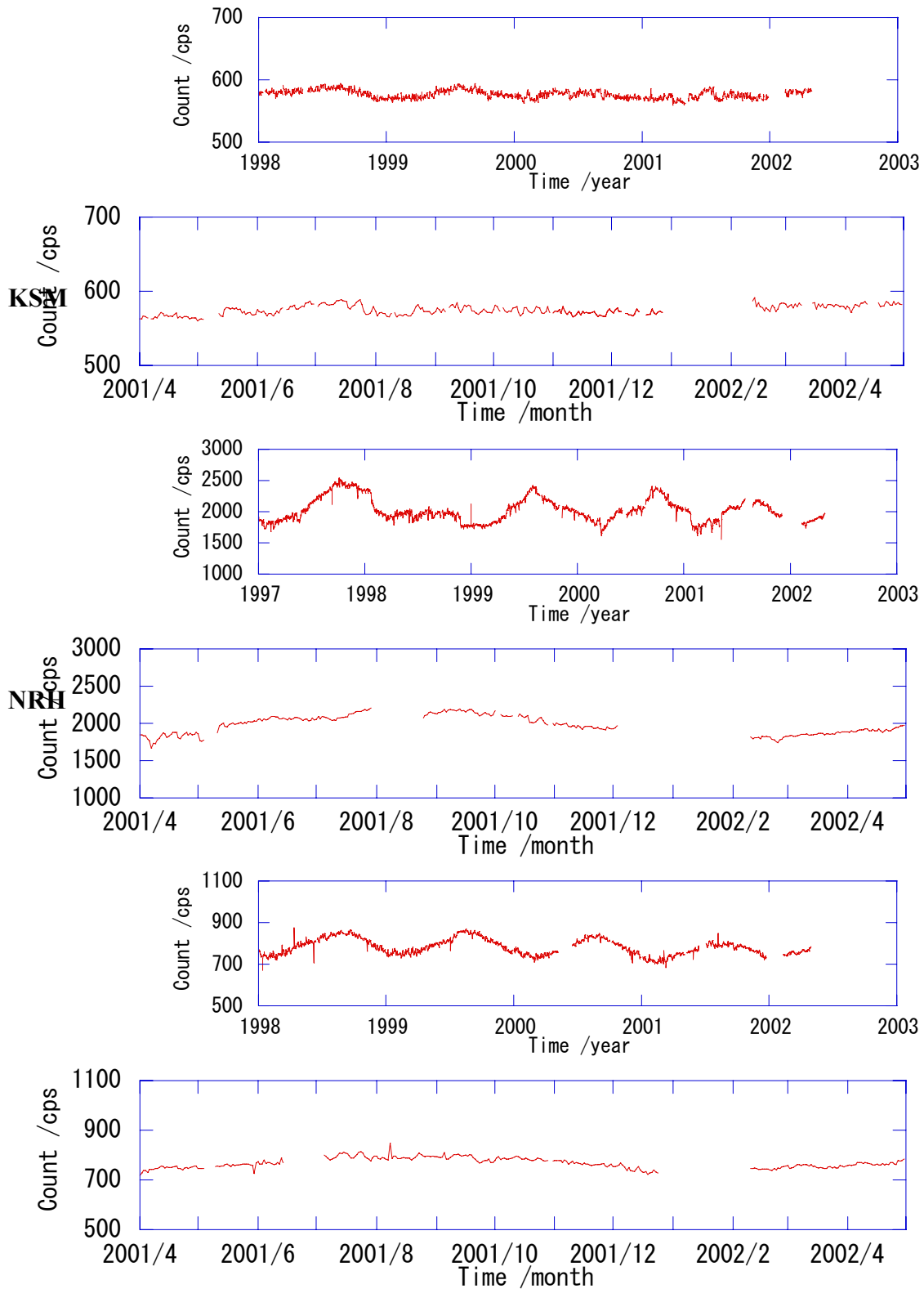
1) 東京大学大学院理学系研究科: 福島県東部におけるラドン観測 (XVIII), 連絡会報, 66 (2001) .



第1図 福島県東部の地球化学観測点の位置

Fig.1 Locations of geochemical observation sites in the eastern part of Fukushima Prefecture.

SOM



第2図 SOM、KSM、NRHにおける地下水のラドン濃度変化

Fig.2 Temporal variations in the radon concentration in ground water at SOM, KSM, NRH. The data are 24-hour moving average value.